

遭難事故が増えています!!

もう一度点検 計画と対応力

冬の自然は厳しく、急変します。冬山経験豊富な信頼できるリーダーと、事故に対応できる力を持ったパーティーであることが必要です。

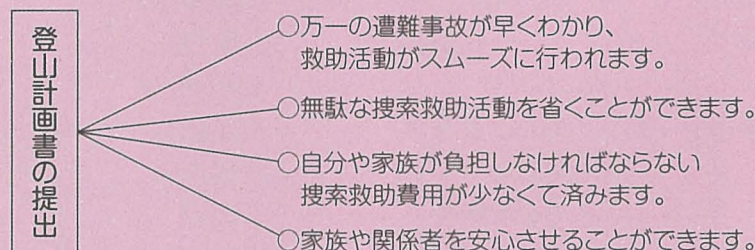
- 1 エステイプルート(万一の時の逃げ道)は考えていますか。
- 2 気象通報による天気図がとれますか。(ラジオなど)
- 3 応急処置のための知識と医薬品・器具は整えましたか。
- 4 雪崩に対する知識・心構えと装備は整えましたか。(雪崩ビーコンなど)
- 5 緊急時の連絡手段は用意しましたか。(携帯電話・無線など)
- 6 山岳保険の加入は済みましたか。
- 7 登山計画書はパーティー全員でよく検討し、理解していますか。
- 8 繰り返し事故多発!過去の事故を確認しましたか。

登山計画書はあなたの生命を守るザイルです。

平成22年の冬山では遭難した167パーティーのうち146パーティー(87%)が、登山計画書の提出なし。

●登山計画書の提出先

- 家庭、クラブ(山岳会)、職場、学校など。
- 山域の登山指導センターや案内所、登山口の登山届ポストなど。
- 登山地域の都道府県警察本部地域課(北海道を除き県庁所在地にありません)または山域を管轄する警察署、交番、駐在所。



※登山計画書の提出先には、必ず下山の報告をしてください。

これまでも登山計画書を提出したおかげで、命拾いをしたという事例が数多くあります。登山計画書を提出するということは、あなたの生命を守るザイルであると考えて必ず実行しましょう。

遭難事故防止の第一歩は登山計画書の作成と提出です。

冬山登山の警告

「あなどるな!自然の力、冬の山」

平成22年12月1日

山岳遭難対策中央協議会

毎年、冬山登山における遭難事故が後を絶ちません。昨冬は年末に気象庁から、大荒れの天気になることについて「暴風と高波及び大雪に関する全般気象情報」が発表されていたにもかかわらず、結果的に多くの遭難事故が発生する事態となりました。

また、大雪等の悪天候のため、ヘリコプターも出動できず、救助活動が困難な孤立状態に陥り、救助が来るまで持ちこたえることが出来なかったり、緊急用の装備を持っていたとしても、撤退の判断が遅れたために被害が拡大した例も多く見受けられました。

冬山は、急激な気象の変化、大雪、雪崩など厳しい自然条件下にあり、たとえ優れた経験や技術、知識を有していても、天候の急変が遭難事故に結びつく場合があります。

登山は、計画段階から無事に帰宅するまで、自己責任において行わなければなりません。日頃から(社)日本山岳協会及び各都道府県山岳連盟等の開催する冬山登山のための研修会、講習会等に参加し、冬山に必要な知識や技能を身に付けるよう心がけるとともに、冬山経験の豊かな判断力のあるリーダーのもとで、別記の注意事項等をよく参照し、万全の準備を整えて登ることが肝要です。十分なトレーニングに裏付けられた自信ときめ細かい計画が、心に余裕のある確実な行動を可能にします。「山に行ってから考えよう」は絶対に禁物です。

なお、遭難事故による家族や学校・職場、さらには広く社会に及ぼす影響を考え、知識や経験、技術の未熟な登山者はこの時期の安易な登山は厳に慎んでください。

山岳遭難対策中央協議会構成省庁・団体

*太字は「幹事会」構成省庁・団体

内閣官房 警察庁 環境省 気象庁 消防庁 林野庁 総務省 防衛省 文部科学省
(独)日本スポーツ振興センター (株)NTT (株)JR東日本 (財)日本体育協会
(社)日本山岳協会 (財)国立公園協会 群馬県 山梨県 静岡県 富山県 長野県

◎平成22年の冬山における山岳遭難発生状況

(平成21年12月1日～平成22年2月28日)

区分 年別	発生 件数	遭 難 者 数 (人)					合計
		死者	行方 不明	重傷	軽傷	無事 救助	
平成22年	167	29	4	35	29	115	212
平成21年	124	27	6	31	24	59	147
増 減	+43	+2	-2	+4	+5	+56	+65

平成12年以降、遭難者数が11年連続して100人以上に！

“自分に限って”という油断は禁物、安全登山はあなたの心構えから!!

◎過去5年間の冬山における遭難の態様別発生状況 (件数)

転・滑落	道迷い	転 倒	疲労・病気	天候急変	雪 崩	その他	合 計
174 (28.9%)	182 (30.2%)	79 (13.1%)	83 (13.8%)	25 (4.1%)	13 (2.1%)	47 (7.8%)	603

※()内は構成比

冬山に関する研修会、講習会等の問い合わせ先

(独)日本スポーツ振興センター国立登山研修所
URL <http://www.naash.go.jp/tozanken/index.html>

TEL (076)482-1211(代)
FAX (076)481-1534

(社)日本山岳協会
URL <http://www.jma-sangaku.org/>

TEL (03)3481-2396
FAX (03)3481-2395

冬山装備チェックリスト

登山目的に合った装備を持参しよう。

(○は必ず持参のもの。△は状況によって持参のもの。)

品 名	品 名	品 名
○ズボン	○非常食	○ツェルト
○シャツ	○救急用品(各種薬等)	○スノーソー
○防寒衣(セーター・羽毛服)	○テーピングテープ	○コンロ
○アンダーウェア上下	○レスキューシート	○燃料・予備燃料
○防風防水透湿パーカ	○テルモス・水筒	○コッフェル・炊事用具
○防風防水透湿オーバーパンツ	○食器類	○ラジオ
○帽子・防寒帽(目出帽)	○ナイフ	○天気図用紙
○靴下(ソックス)・予備靴下	○ホイッスル	○トランシーバー(予備電池)
○手袋(グローブ)・予備手袋	○ヘッドランプ	○標識布・竹
○オーバーミトン	○予備電池・電球	○修理用具一式
○登山靴	○ローソク	○ザイル(ロープ)
○ロングスパッツ	○ライター・マッチ	○カラビナ
○わかんじき	○時計	○スリング各種
○アイゼン	○高度計	△伸縮式ストック
○ピッケル	○コンパス	△ハーネス
○スノーシャベル	○1/25000地形図	△サブザック
○雪崩ビーコン	○ルート図	△テント一式
○携帯ゾンデ棒(プローブ)	○登山計画書	△大型スノーシャベル
○ルックザック	○筆記具	△ランタン
○ゴーグル	○身分証明書	△カメラ
○シュラフ(スリーピングバッグ)	○緊急連絡票	△サングラス
○シュラフカバー	○携帯電話(予備電池)	△油性太字ペン
○マット	○健康保険証	△各種登攀用具
	○ロールペーパー	△GPS
	○タオル・手拭	
	○ボリ袋	
	○装備整理袋	

“冬山は万全の準備で、心に余裕と確実な行動を!”

主な山岳地の登山についての問い合わせ

山 岳	気 象 情 報	山 岳 情 報
主 な 山 域 の 冬 山 情 報	各地域の情報は地方気象台にお問い合わせ下さい。 ◎インターネット http://www.jma.go.jp/jma/index.html	警察庁生活安全局地域課 ◎インターネット http://www.npa.go.jp/
利 尻 岳	稚内地方気象台 (0162) 23-2678	北海道警察 旭川方面本部地域課 (0166) 35-0110 内 3543 ◎インターネット http://www.asahikawahonbu.police.pref.hokkaido.jp/index.html
大 雪 山 系 十 勝 岳	旭川 ◇ (0166) 32-6368	青森県警察本部地域課 (017) 723-4211 内 3563
八 甲 田 山 系	青森 ◇ (017) 741-7411	岩手県警察本部地域課 (019) 653-0110 内 3583 秋田県警察本部地域課 (018) 863-1111 内 3593
八 幡 平	盛岡 ◇ (019) 622-7868 秋田 ◇ (018) 823-8291	山形県警察本部地域課 (023) 626-0110 内 3573 ◎インターネット http://www.pref.yamagata.jp/police/
鳥 海 山 系	山形 ◇ (023) 622-2262 秋田 ◇ (018) 823-8291	宮城県警察本部地域課 (022) 221-7171 内 3593 ◎インターネット http://www.police.pref.miyagi.jp/ 山形県警察本部地域課 (023) 626-0110 内 3573 ◎インターネット http://www.pref.yamagata.jp/police/
蔵 王 山 系	仙台管区気象台 (022) 297-8104 山形地方気象台 (023) 622-2262	山形県警察本部地域課 (023) 626-0110 内 3573 ◎インターネット http://www.pref.yamagata.jp/police/
飯 豊 連 峰	山形 ◇ (023) 622-2262 新潟 ◇ (025) 244-1701 福島 ◇ (024) 534-2162	山形県小国警察署 (0238) 62-0110 新潟県警察本部地域課 (025) 285-0110 内 3585 ◎インターネット http://www.police.pref.niigata.jp/ 福島県警察本部地域安全課 (024) 522-2151 内 3633 ◎インターネット http://www.police.pref.fukushima.jp/
巻 機 山 連 峰 苗 場 山	新潟 ◇ (025) 244-1701 前橋 ◇ (027) 231-2237 長野 ◇ (026) 232-2034	新潟県警察本部地域課 (025) 285-0110 内 3585 ◎インターネット http://www.police.pref.niigata.jp/
谷 川 岳 草 津 白 根 山	新潟 ◇ (025) 244-1701 前橋 ◇ (027) 231-2237 長野 ◇ (026) 232-2034	群馬県警察本部地域課 (027) 243-0110 内 3564 ◎インターネット http://www.police.pref.gunma.jp/
丹 沢 山 系	横浜 ◇ (045) 621-1991	神奈川県警察本部地域総務課 (045) 211-1212 内 3532 ◎インターネット http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesg0004.htm
南 アル プ ス 富 士 山	甲府 ◇ (055) 222-2347 静岡 ◇ (054) 286-3411 長野 ◇ (026) 232-2034	山梨県警察本部地域課 (055) 235-2121 内 3576 ◎インターネット http://www.pref.yamanashi.jp/police/ 静岡県警察本部地域課 (054) 271-0110 内 3576 ◎インターネット http://www.police.pref.shizuoka.jp/osirase/sangaku/
北 アル プ ス 中央アルプス 南 アル プ ス 八 ケ 岳	長野 ◇ (026) 232-2034 岐阜 ◇ (058) 271-4109	長野県警察本部地域課 (026) 235-3611 (直通) ◎インターネット http://www.pref.nagano.lg.jp/police/ 山梨県警察本部地域課 (055) 235-2121 内 3576 ◎インターネット http://www.pref.yamanashi.jp/police/
北 アル プ ス	富山 ◇ (076) 432-2311 岐阜 ◇ (058) 271-4109	富山県警察本部地域室 (076) 441-2211 内 3863 ◎インターネット http://police.pref.toyama.jp/ 岐阜県警察本部地域課 (058) 271-2424 内 3584 ◎インターネット http://www.pref.gifu.lg.jp/police/
大 峰 山 系 大 台 山 系	奈良 ◇ (0742) 22-2555	奈良県警察本部地域課 (0742) 23-0110 内 3574 ◎インターネット http://www.police.pref.nara.jp/
大 山	鳥取 ◇ (0857) 29-1311	鳥取県警察本部地域課 (0857) 23-0110 内 3578 ◎インターネット http://www.pref.tottori.lg.jp/policedaisen/
石 鎧 山 系	松山 ◇ (089) 941-0012 高知 ◇ (088) 822-8881	愛媛県警察本部地域課 (089) 934-0110 内 3573 ◎インターネット http://www.police.pref.ehime.jp/ 高知県警察本部地域課 (088) 826-0110 内 3565 ◎インターネット http://www.police.pref.kochi.lg.jp
屋 久 島	鹿児島 ◇ (099) 250-9913	鹿児島県屋久島警察署 (0997) 46-2110 内 290

“冬の山 ゴミを捨てない 暖かさ”

最新の気象状況把握が冬山登山の命綱

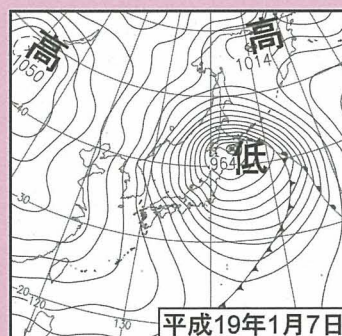
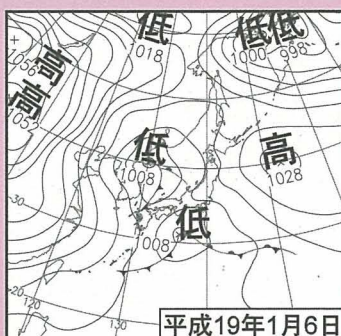
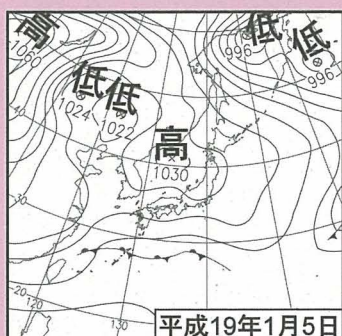
～登山の数日前から、常に最新の気象情報で状況を確認～

日本付近が高気圧に覆われていれば山でも比較的穏やかな天気となりますが、このような状態が長続きすることはほとんどなく、平地とは比較にならないくらい急激な変化をします。特に西高東低のいわゆる冬型の気圧配置では、激しい風や雪、急激な気温低下が起こります。

例として平成19年1月5日から7日の毎日9時の天気図を見てみましょう。5日は高気圧に覆われ晴れのところが多く気温も高くなりましたが、6日から7日にかけて低気圧が急速に発達しながら日本付近を通過し、その後強い冬型の気圧配

置となり、各地で雨や雪、強風となりました。さらに、大雪のときだけでなく、このような冬型の気圧配置がゆるんだ後、穏やかな天気でも気温が上がったり、雨が降ったりすればなだれの危険があります。山岳地域の斜面では注意報が発表されていなくてもなだれが発生することがありますので常に注意が必要です。

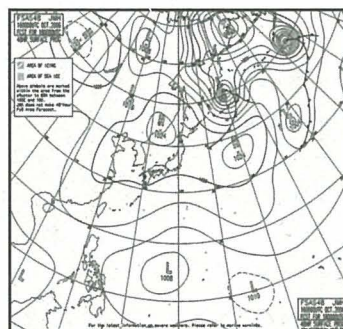
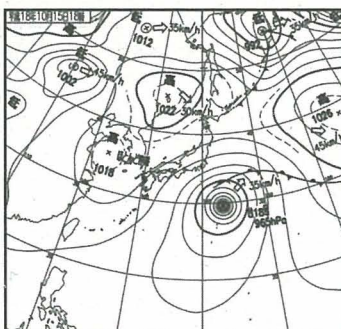
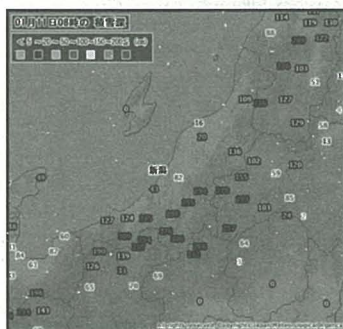
登山の数日前から天気図や積雪状況などを確認し、また、登山を始めてからも常に最新の気象情報を利用して、どのような天気になるのかを把握することが必要です。



気象情報の種類と内容

様々な気象の情報は、常に最新のものを利用することが大切です。ラジオやテレビ、電話177のほか、インターネットや携帯電話を利用した情報入手も可能です。

気象庁のホームページ (<http://www.jma.go.jp>) では、警報・注意報や天気予報、気象情報などはもちろん、アメダスによる各地の気象状況、最新の天気図、24時間後、48時間後の予想天気図を確認することができます。



気象庁ホームページで閲覧できる主な情報

- 警報・注意報：現象の起こる地域や激しさの程度、時間帯など（災害の起こるおそれがあるときに随時発表）
- 気象情報：警報・注意報に先立つ注意喚起や警報・注意報の解説など（必要なときに随時発表）
- 天気予報：明後日までの天気、風、降水確率、最高・最低気温などの予報（毎日5、11、17時に発表）
- 週間天気予報：明日から7日間の天気、降水確率、最高・最低気温などの予報（毎日11、17時に発表）
- アメダス：降水量、風、気温、積雪深、日照時間（毎時更新）
- 天気図：高気圧や低気圧、前線の位置など（実況は3時間毎、24・48時間後の予想は12時間毎に発表）
- 火山情報：火山活動の異常や近況、評価など（必要なときに随時発表）火山登山ではその活動にも注意。